

第5 公営企業の業務の状況

1 電気事業

(1)平成21年度予算及び経営状況

10発電所における年間総販売電力量を1億8,200万キロワットアワーと見込み、これを基礎に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、電気事業収益15億7,612万4千円、電気事業費用14億5,093万円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入201万4千円、資本的支出13億6,998万3千円を計上し、資源の有効利用と販売電力量の増加を図るため、中小水力発電開発事業として平瀬発電所の建設事業を継続実施します。

なお、水力発電の経営は、気象条件に左右されますので、貯留水の効率的運用を図ることはもちろん、気象状況の早期把握、関係機関との密接な連携等を図り、販売電力量の確保による収入の増加と経費の効率的執行により経営の安定化に努力します。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第11表 平成21年度電気事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	平成21年度 (A)	平成20年度 (B)	増 減 (A) - (B)
年間総販売電力量	182,459 M W H	183,778 M W H	1,319 M W H

第12表 平成21年度電気事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	平成 21 年度 当初予算額(A)	平成 20 年度 当初予算額(B)	比 較 (A) - (B)	(A) / (B)
収益的収入				
電気事業収益	1,576,124	1,649,473	73,349	95.6
営業収益	1,568,312	1,639,259	70,947	95.7
財務収益	7,535	9,959	2,424	75.7
事業外収益	274	252	22	108.7
特別利益	3	3	0	100.0
収益的支出				
電気事業費用	1,450,930	1,472,800	21,870	98.5
営業費用	1,305,628	1,297,894	7,734	100.6
財務費用	93,105	105,998	12,893	87.8
事業外費用	49,194	65,905	16,711	74.6
特別損失	3	3	0	100.0
予備費	3,000	3,000	0	100.0
資本的収入				
資本的収入	2,014	2,667	653	75.5
資本剰余金	1,154	1,497	343	77.1
固定資産収入	1	1	0	100.0
雑収入	859	1,169	310	73.5
資本的支出				
資本的支出	1,369,983	342,702	1,027,281	399.8
建設費用	9,058	10,859	1,801	83.4
改良費用	122,037	60,228	61,809	202.6
投資	1	1	0	100.0
償還金	235,787	268,514	32,727	87.8
長期貸付金	1,000,000	0	1,000,000	皆増
補助金返還金	100	100	0	100.0
予備費	3,000	3,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額13億6,796万9千円は、内部留保資金(損益勘定留保資金及び消費税資本的収支調整額)で補てんします

(2)平成20年度下半期の業務の概要

平成20年度は、11月から比較的降雨に恵まれたものの、7月から10月にかけて少雨傾向であったため、県下主要ダム地点で平年の87.6%となり、平成20年度の販売電力量は目標に対して67.6%、電力料金収入は目標に対して90.3%となりました。

また、経営の安定を図る上から、より一層の経費の節減に努めるとともに、2月補正では、電力料金収入の減等により、収益的収入予算においては、全体で1億5,847万5千円の減額補正を、収益的支出予算においては、人件費の減等により7,648万円の減額補正を行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において14億9,027万5千円、収益的支出において14億6,515万2千円、資本的収入において298万4千円、資本的支出において3億2,575万3千円となりました。

なお、中小水力発電開発事業として平瀬発電所の建設事業を継続実施しました。

第13表 企業債及び一時借入金の状況(電気事業)

区 分	発 行 総 額	償 還 額		平成20年度末 現 在 高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	5,431,000	268,513	2,996,253	2,434,747
錦川水系発電所	1,745,000	85,232	647,815	1,097,185
佐波川発電所	988,000	49,448	780,649	207,351
木屋川発電所	646,000	31,957	396,044	249,956
新阿武川発電所	248,000	11,444	80,517	167,483
生見川発電所	495,000	31,072	372,095	122,905
本郷川発電所	106,000	6,666	75,159	30,841
末武川発電所	883,000	38,122	453,583	429,417
小瀬川発電所	320,000	14,572	190,391	129,609
一 時 借 入 金	-	-	-	0

2 工業用水道事業

(1)平成21年度予算及び経営状況

年間総給水量5億8,100余万 m^3 と見込み、これを基礎に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、工業用水道事業収益81億197万9千円、工業用水道事業費用62億609万9千円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入27億2,458万4千円、資本的支出55億8,118万4千円を計上し、企業債償還金31億3,579万5千円のほか、工業用水の安定供給のため、改良事業として厚東川改築事業などを引き続き実施します。

なお、工業用水の安定した供給に努めるとともに、引き続き、需要の開拓をはじめ、諸施策に取り組み、工業用水道事業会計の経営基盤強化に努力します。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第14表 平成21年度工業用水道事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	平成21年度 (A)	平成20年度 (B)	増 減 (A) - (B)
年 間 総 給 水 量	581,386,600 m^3	581,244,250 m^3	142,350 m^3

第15表 平成21年度工業用水道事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	平成 21 年度 当初予算額(A)	平成 20 年度 当初予算額(B)	比 較 (A) - (B)	(A) / (B)
収益的収入				
工業用水道事業収益	8,101,979	8,700,086	598,107	93.1
営業収益	8,071,841	8,681,457	609,616	93.0
営業外収益	30,133	18,624	11,509	161.8
事業外収益	2	2	0	100.0
特別利益	3	3	0	100.0
収益的支出				
工業用水道事業費用	6,206,099	6,194,675	11,424	100.2
営業費用	5,117,315	5,022,450	94,865	101.9
営業外費用	1,078,508	1,161,949	83,441	92.8
事業外費用	174	174	0	100.0
特別損失	102	102	0	100.0
予備費	10,000	10,000	0	100.0
資本的収入				
資本的収入	2,724,584	4,040,688	1,316,104	67.4
企業債	1,494,000	2,491,000	997,000	60.0
長期借入金	556,606	592,540	35,934	93.9
資本剰余金	519,860	790,114	270,254	65.8
固定資産収入	1	1	0	100.0
雑収入	154,117	167,033	12,916	92.3
資本的支出				
資本的支出	5,581,184	7,562,859	1,981,675	73.8
建設費	258,300	405,300	147,000	63.7
改良費	2,167,096	3,220,735	1,053,639	67.3
投資	1	1	0	100.0
償還金	3,135,795	3,910,355	774,560	80.2
補助金返還金	9,992	16,468	6,476	60.7
予備費	10,000	10,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額28億5,660万円は、内部留保資金（損益勘定留保資金及び消費税資本的収支調整額）で補てんします

(2)平成20年度下半期の業務の概要

平成20年度は、11月から比較的降雨に恵まれたものの、7月から10月にかけて少雨傾向であったため、1年を通じての実給水量は、契約水量に対し、70.3%(昨年度66.3%)となりました。

なお、平成20年度下半期も工業用水の安定供給のため、改良事業として周南改築事業などを実施しました。

また、平成19年度に引き続き、需要の開拓、料金の適正化等の経営基盤強化に取り組みました。

下半期における予算の補正については、収益的収入予算においては、給水収益の増加等により1億6,924万6千円の増額補正を、収益的支出予算において、営業費用の減少等により2億3,110万9千円の減額補正をしました。また、資本的収入予算においては、企業債の減等により9億1,313万2千円の減額補正を、資本的支出予算においては、改良費の減等により5億4,787万2千円の減額補正をしました。

この結果、最終予算は、収益的収入において88億6,933万2千円、収益的支出において59億6,356万6千円、資本的収入において31億2,755万6千円、資本的支出において70億1,498万7千円となりました。

第16表 企業債及び一時借入金の状況(工業用水道事業)

区 分	発行総額	償 還 額		平成20年度末 現在高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	61,317,600	3,527,629	31,120,599	30,197,001
小瀬川工業用水道	2,621,000	105,699	961,952	1,659,048
柳井川工業用水道	95,000	54,057	95,000	0
向道・川上工業用水道	1,084,000	46,728	361,562	722,438
周南工業用水道	8,617,400	186,662	1,130,713	7,486,687
佐波川工業用水道	561,600	25,930	185,735	375,865
厚東川工業用水道	6,392,000	252,521	2,256,354	4,135,646
木屋川工業用水道	4,340,000	225,001	1,868,414	2,471,586
生見川工業用水道	2,518,000	221,763	1,882,865	635,135
富田夜市川工業用水道	2,482,000	175,270	1,674,183	807,817
厚東川第2期工業用水道	3,294,000	228,372	1,938,498	1,355,502
厚狭川工業用水道	6,446,000	457,872	4,186,418	2,259,582
木屋川第2期工業用水道	5,895,000	360,157	4,140,532	1,754,468
末武川工業用水道	4,061,000	227,335	2,708,638	1,352,362
佐波川第2期工業用水道	3,751,000	295,747	2,781,763	969,237
小瀬川第2期工業用水道	9,159,600	664,515	4,947,972	4,211,628
一 時 借 入 金	-	-	-	0

3 総合医療センター事業

(1)平成21年度予算及び経営方針

業務予定量については、入院患者延べ数170,090人、外来患者延べ211,508人を見込み、これを基礎に収益収支の予算を編成しています。その予定額は、病院事業収益115億767万7千円、病院事業費用113億3,716万6千円で、前年度当初と比較して、収益で3億7,370万6千円の増加、費用で2億5,753万6千円の増加を見込んでいます。

また、資本的支出については、16億5,150万8千円を計上し、企業債償還金11億4,558万円のほか、病院施設を整備するため9,592万8千円、高度医療機器等を購入するため4億500万円を措置しています。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第17表 平成21年度総合医療センター事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	平成21年度 (A)	平成20年度 (B)	増 減 (A) - (B)
1 病 床 数	504床	504床	0床
2 年 間 患 者 数			
入 院	170,090人	170,090人	0人
外 来	211,508人	220,887人	9,379人
3 一 日 平 均 患 者 数			
入 院	466人	466人	0人
外 来	874人	909人	35人
4 主 要 な 建 設 改 良 費			
病 院 施 設 整 備 事 業	95,928千円	89,166千円	6,762千円
医 療 機 械 器 具 及 び 備 品 購 入	405,000千円	405,000千円	0千円

第18表 平成21年度総合医療センター事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	平成 21 年度 当初予算額(A)	平成 20 年度 当初予算額(B)	比 較 (A) - (B)	(A) / (B)
収益的収入				
病院事業収益	11,507,677	11,133,971	373,706	103.4
医業収益	10,010,272	9,597,767	412,505	104.3
医業外収益	1,497,305	1,536,204	38,899	97.5
特別利益	100	0	100	皆増
収益的支出				
病院事業費用	11,337,166	11,079,630	257,536	102.3
医業費用	11,091,429	10,830,671	260,758	102.4
営業外費用	244,137	247,459	3,322	98.7
特別損失	600	500	100	120.0
予備費	1,000	1,000	0	100.0
資本的収入				
資本的収入	927,803	846,262	81,541	109.6
企業債	495,000	489,000	6,000	101.2
負担金	391,757	315,789	75,968	124.1
寄付金	41,046	41,473	427	99.0
資本的支出				
資本的支出	1,651,508	1,560,428	91,080	105.8
建設改良費	500,928	494,166	6,762	101.4
企業債償還金	1,145,580	1,061,262	84,318	107.9
予備費	5,000	5,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額7億2,370万5千円は、内部留保資金(過年度分損益勘定留保資金及び資本的収支調整額)で補てんします

(2)平成20年度下半期の業務の概要

公共医療機関としての使命と公営企業としての経済性の調和を図りながら、県民への医療サービスの向上に努めてまいりました。

下半期における予算の補正については、収益的収入予算において、1億2,543万4千円の減額補正をしましたが、これは、入院収益の減少等によるものです。

また、収益的支出予算において、3億5,298万6千円の増額補正をしましたが、これは給与費の増加等によるものです。

この結果、最終予算は、収益的収入において110億853万7千円、収益的支出において114億3,261万6千円、資本的収入において8億5,160万6千円、資本的支出において15億6,575万1千円となりました。

第19表 企業債及び一時借入金の状況(総合医療センター事業)

区 分	発 行 総 額	償 還 額		平成20年度末 現 在 高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	8,320,000	1,071,968	2,389,564	5,930,436
一 時 借 入 金	-	-	-	0

4 こころの医療センター事業

(1)平成21年度予算及び経営方針

業務予定量については、入院患者延べ数63,145人、外来患者延べ23,765人を見込み、これを基礎に収益収支の予算を編成しています。その予定額は、病院事業収益16億4,834万4千円、病院事業費用17億8,911万1千円で、前年度当初と比較して、収益で4,350万7千円の減少、費用で8,796万8千円の減少を見込んでいます。

また、資本的支出については、2,838万5千円を計上し、企業債償還金2,838万5千円を措置しています。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第20表 平成21年度こころの医療センター事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	平成21年度 (A)	平成20年度 (B)	増 減 (A) - (B)
1 病 床 数	180床	180床	0床
2 年 間 患 者 数			
入 院	63,145人	62,780人	365人
外 来	23,765人	22,785人	980人
3 一 日 平 均 患 者 数			
入 院	173人	172人	1人
外 来	97人	93人	4人
4 主 要 な 建 設 改 良 費			
病 院 施 設 整 備 事 業	0千円	629,002千円	629,002千円
医 療 機 械 器 具 及 び 備 品 購 入	0千円	229,706千円	229,706千円

第21表 平成21年度こころの医療センター事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	平成 21 年度 当初予算額(A)	平成 20 年度 当初予算額(B)	比 較 (A) - (B)	(A) / (B)
収益的収入				
病院事業収益	1,648,344	1,691,851	43,507	97.4
医業収益	1,309,177	1,368,393	59,216	95.7
医業外収益	339,167	310,197	28,970	109.3
特別利益	0	13,261	13,261	0.0
収益的支出				
病院事業費用	1,789,111	1,877,079	87,968	95.3
医業費用	1,695,737	1,743,397	47,660	97.3
営業外費用	92,774	81,100	11,674	114.4
特別損失	100	52,082	51,982	0.2
予備費	500	500	0	100.0
資本的収入				
資本的収入	15,761	881,788	866,027	1.8
企業債	0	848,000	848,000	0.0
負担金	15,761	33,788	18,027	46.6
資本的支出				
資本的支出	28,385	882,608	854,223	3.2
建設改良費	0	858,708	858,708	0.0
企業債償還金	28,385	23,900	4,485	118.8

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額1,262万4千円は、内部留保資金(過年度分損益勘定留保資金)で補てんします。

(2)平成20年度下半期の業務の概要

公営企業として能率的かつ合理的な経営に努めるとともに、県下唯一の公立精神科病院として先駆的で良質な医療により精神障害者の治療と保護を推進し、県民の精神的健康の維持向上に努めてきました。

下半期における予算の補正については、収益的収入予算において、1億241万6千円の減額補正をしていますが、これは、院外処方開始による薬価収入の減等によるものです。

また、収益的支出予算において、1億2,770万5千円の減額補正をしましたが、これは給与費及び材料費の減少等によるものです。

この結果、最終予算は、収益的収入において15億8,943万5千円、収益的支出において17億4,937万4千円、資本的収入において6億8,469万7千円、資本的支出において6億9,358万5千円となりました。

第22表 企業債及び一時借入金の状況 (こころの医療センター事業)

(単位 千円)

区 分	発 行 総 額	償 還 額		平成20年度末 現 在 高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	4,711,000	23,900	184,400	4,526,600
一 時 借 入 金	4,000	-	-	4,000